

市長と語る タウンミーティング
テーマ「災害に強いまちづくり」

日 時 平成24年6月7日 午後7時～8時29分
会 場 鶴ヶ岡分館（鶴ヶ岡二丁目町会）

参加者 23人

主な意見等（◆・・・参加者 ☆・・・市長）

◆ふじみ野市は海や山がなく大災害にはならないのではないかと。どのような災害が想定されるのか。

☆家屋の倒壊や火災による災害が大きいと考えている。

◆災害時の被害の程度は低いのではないかと。

☆発生の時間帯により被害状況は変わってくると考えている。例えば、冬場の夕方に地震が発生した場合、ストーブなどの暖房器具や夕食の準備で火を使用している場合には大きな火災が発生することが予想される。また、水道管が凍っていると消火栓から水が出ず、火災を消火できない事態となり甚大な被害が想定される。

皆さんが避難する場合には、決められた避難所に行く必要はありません。近くの広場や畑にまずは逃げて生き残ってほしい。

現在、想定される被害状況は、全壊23棟、半壊453棟、死者2人、負傷者82人、断水人口4万7千人、避難者が1万1,300人となっています。地域で助け合えるマニュアルを作成してほしい。

昨年3月11日の震度は4.3で、震度計の設置場所に問題があるのかは不明ですが、周辺より低い傾向にあり、倒壊はなかった。しかし、市内約10,500世帯が停電し、市では保育所などでの対応をしました。

◆マンションでは、水の問題があり停電への対応が必要ではないのか。

☆3.11の時にマンションでは、停電のため、水道管は通っているが屋上の給水塔に水が上がらずに給水車が出動した。高層マンションでは、耐震構造になっていて地震による被害はないと考え、町会に入らない所が多い。他のタウンミーティング会場では、高層マンションに住んでいる人が、停電による教訓として町会に入らなければと言っていたケースもあった。

鶴ヶ岡二丁目町会でも、加入率は51%であり、今が防災力を高めるチャンス。市においても人が転入した時に、市が防災力を高めることに力を入れていることやその必要性を説明したり、封筒などにも明記をして加入促進を図っている。子供会の関係で自治会には加入しているが、町会には入っていない方もいるので、地域の絆を高めていきたいと考えている。

◆集合住宅では、管理している人が町会加入に積極的ではない。だれが管理をし

ているのかがわからない。わかるような制度を作るとか指導をしてほしい。生ごみの問題への対応にも困っている。

☆町会加入は任意であり、行政として規制などをすることは難しい。また、地域のことでもあるので、まずは地域の皆さんが実施をする意識を持ってもらう必要があります。しかし、行政も地域の皆さんと一緒に町会加入の促進などをしていきたいと考えている。

◆子供の会費を払っているが、町会と両方を払うことはできないと言われた。

☆行政というよりも、地域も一緒になって推進してほしい。震災時に停電を経験した地域とそうでない地域では、加入への意識が違っている。行政と地域がタイアップしてやっていければと考えている。今日などもマンション管理組合の人などにも声掛けをして参加をしてもらいたい。

◆防災倉庫について、鶴ヶ岡三丁目町会は公園に設置してある。各町会で設置するのか、行政で設置するのか。

☆鶴ヶ岡三丁目は、町会独自で設置し、54町会それぞれが独自に設置している。行政としては、例えばバール1本あれば人命救助もできるので、防災資機材の充実を各エリアでしていきたい。現在行政が用意している防災倉庫は、避難所を中心に市内に29箇所ある。今年度は、20万円の補助金を28町会分予算化しているので、公園などに積極的に設置してほしい。

◆現在、ここには倉庫が無いが、明日、災害が発生したらどうなるのか。

☆鶴ヶ丘小学校にある防災倉庫での対応となる。補助金があるので、すぐにでも倉庫の設置手続きをしてほしい。町会の加入率は51%であるが、避難所に人が集まり、炊き出しをした場合、町会未加入者だからと食事を提供しないわけにはいかない。たまたまそこに居た市外の人や地域外の人、ともに助け合う必要がある。市と県でそれぞれ1日分を確保しますので、皆さんには自分で1日分確保し、合計で3日間の飲料水や食事を確保する必要がある。物干し竿が担架に代用できることなどの知識を得て防災力を高めてほしい。

地域の防災力をどのように高めるのが重要で、皆さんの意識を高めてほしい。自主防災組織の組織率が3月31日現在で71%、それを2年間で100%にしていきたい。鶴ヶ岡二丁目は未組織なので、ぜひ自主防災組織を作って欲しい。障がい者の方は、皆さんと同様に避難しますが、避難所で同様に過ごすことはできない。市の福祉課で対応することも難しく、地域の力が必要となる。自主防災組織をこの機会に役所と一緒に立ち上げて力をつけてほしい。

◆鶴ヶ岡二丁目には、鶴ヶ岡中央公園と鶴ヶ丘小学校の2つの避難所があるがどちらに避難したらよいのか。

☆鶴ヶ岡中央公園は一時避難所、鶴ヶ丘小学校は地域防災拠点としての避難所となっている。まず第一に避難する場所が鶴ヶ岡中央公園となる。それから避難所生活が必要となった場合には鶴ヶ丘小学校に避難することとなる。12月2日に全市避難訓練を実施しますが、地域で一時避難場所を決めて欲しい。また、

当日、会長さん等による地区対策本部で、一時避難所にどのルートで何人の方が避難してくるのかなどの計画を作成してもらいます。

◆要介護者を助けに行けない場合の連絡方法は。

☆地域の皆さんで救護的な組織を作って欲しい。避難所には無線電話を設備するので使用してほしい。今年の3月11日に実施した職員参集訓練では参集率は約90%であったが、災害時には土日夜間、道路や橋などの状況によりそれ程の参集はできないことが予想され、地域での対応が必要となる。行政も一緒になって考えていきたい。今後行う図上訓練では、どのように組織し、役割をどう決めるのかなど避難所の作り方などについて実施します。

だれが助けに行くかなどを定める災害時要介護者支援システムがあるが、事前に登録する必要がある。しかし、個人情報の問題があり、530人のうち半分しか登録できていない。行政には限界があり地域の協力をお願いしたい。

◆民生委員であれば、要介護者の所在などはわかるのではないか。

☆本人が手を上げ、承諾をもらわないとならないので難しい。

◆町会加入率が高いところはどのようなアピールをしているのか。利点をどう伝えればよいのか。マンションの人は、お金を払うだけでメリットを感じていない。魅力がないと加入しない。

☆一番は、特に小さい子供がいる方に対しては、防犯活動です。次に防災活動です。マンションでは、いざとなると水とトイレに困ります。3.11に停電したマンションでは、エレベーター、電気、ガス、水の問題があり、町会への加入を検討した所もあります。行政がそのようなマンションに関する事例の資料を作成し、一緒に回り協力関係を作っていきたい。

町会に入りたがらない理由には、役員になることへの負担もあるようです。

今後、自主防災組織を作る際に、その必要性和町会の重要性を感じてもらい、加入するきっかけを作っていってほしい。

◆7、8年前は集合住宅はかなり町会に入ってくれた。しかし、その後、入ってもメリットがないなど印象の悪い方向に進み加入率が低下していった。集合住宅建設時に、管理者等に町会加入を促進させるようなことをさせないと加入率は上がらない。また、かつては、提灯祭りがあったが、祭りをやめてから地域のまとまりがなくなった。月1回の日曜清掃などに参加してもらえればきっかけになるのだが。

☆人間関係が希薄の中、3.11の東日本大震災が、皆が協力してなんとかしなければならぬということに気付かせたこととなった。犠牲者の死を無駄にしないためにも、震災を教訓にして一人の犠牲者も出さないようにする必要がある。マンション管理組合の集まりがあれば、私たちも参加して町会加入の必要性などについて説明していきたい。

◆富士見市にららぼーとができると聞いたが本当なのか。

☆富士見市役所の前にできる予定です。